

2014年10月20日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

11月の「介護の日」に向けて 岐阜市・柳ヶ瀬商店街で 学生がバラの花を贈り啓発活動

中部学院大学（学長 古田 善伯）ならびに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）は、11月11日の「介護の日」に向けて、身の回りで介護をしている方へ感謝の言葉を添えて、バラの花を贈る運動を展開しています。

このキャンペーンは学生を中心として毎年行っており、今回で7年目。今年も岐阜県福祉・介護人材確保対策助成事業の助成を受け、介護の日の啓発活動を展開します。

今回は、11月1日に岐阜市の柳ヶ瀬わくわくステージ（岐阜タカシマヤ前）で「介護の日フェスティバル」を企画しました。バラの花を贈る運動をはじめ、学生による和太鼓演奏、聖歌隊の合唱、楽器演奏、介護事業所スタッフによる介護劇などを予定しています。なお、啓発活動の参加者は、本学で介護福祉士などを目指して介護を学ぶ学生や教職員約90人（うち学生80人程度）を予定しています。

記

- 日時 2014年11月1日（土）午後1時30分～3時30分
- 場所 岐阜市・柳ヶ瀬わくわくステージ（岐阜タカシマヤ前）
- 参加者 中部学院大学短期大学部 社会福祉学科1年など約90名（教職員含む）
- 企画 中部学院「介護の日」普及委員会
- 主催 中部学院大学、中部学院大学短期大学部
- 後援 岐阜県、岐阜県社会福祉協議会、岐阜劇場通り北商店街振興組合（柳ヶ瀬）

【経緯】

中部学院大学・同短期大学部では、介護の日に、身の回りで「介護」をしている方に感謝の言葉を添えて、バラの花を贈る運動を提唱しています。介護をしているご家族、介護でお世話になっている介護職の方など、日ごろから介護に頑張っている方々に、バラの花とともに感謝の言葉とエールを送りたいと思います。「母の日」や「バレンタインデー」のように、「介護の日」が人々の間に浸透していくことを願っています。介護の日を通じて、家族や社会の絆を深め、優しい社会を築くきっかけになってほしいと考えています。

【募金活動（学内外で実施）】

11月1日（土）午後 柳ヶ瀬わくわくステージ

※寄付金は、介護者に贈るバラの購入代などにあてます。

【介護の日】

介護についての理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者および介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進するため、国は、2008年から毎年11月11日を「介護の日」と定めました。

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学短期大学部 社会福祉学科 吉川 杉生 学科長 (教授)

TEL:0575-24-2211 (関キャンパス) Mail : yoshi@chubu-gu.ac.jp